ISSN 1882-0468
ISSN-L 1882-0468

NDL 書誌情報ニュースレター

2021 年 1 号（通号 56 号）

目 次

終刊にあたって
（収集書誌部　諏訪康子） 1

書誌データの広報からみた 70 年
（収集・書誌調整課　村上一恵） 2

コラム：書誌データ利活用（16）―2021 年 1 月からの書誌データ提供サービス
（収集・書誌調整課　書誌サービス係） 13

おしらせ：令和 2 年度書誌調整連絡会議を開催しました
（収集・書誌調整課　書誌調整係） 20

国立国会図書館

終刊にあたって

2007 年 5 月から年 4 回刊行してまいりました「NDL 書誌情報ニュースレター」（以下、「ニュースレター」）は、本号が最終号となります。これまでご愛読いただき、ありがとうございました。

ウェブ雑誌である「ニュースレター」の歩みは 14 年ほどですが、書誌情報（書誌データ）の利用者に向けた国立国会図書館（ＮＤＬ）の広報誌の歴史は、1971 年創刊の『印刷カード通信』に遡ります。これまでの変遷は、本誌今号の記事「書誌データの広報からみた 70 年」で詳しくご紹介していますので、ご参照いただければと思います。

「ニュースレター」の刊行を開始した 2000 年代は、書誌データ作成についての新しい考え方が盛んに議論されていた時期でした。1997 年、コンピュータやインターネットの普及による図書館業務の変化を背景に、書誌データの概念モデルを定義した『書誌レコードの機能要件』（FRBR）（PDF: 1.37MB）（IFLA Website へリンク）が国際図書館連盟（IFLA）（IFLA Website へリンク）から発表され、図書館界に大きな影響を与えました。海外で広く普及する目録規則であった『英米目録規則第 2 版』（AACR2）は、FRBR の概念モデルを採り入れて大幅な改訂が行われ、2010 年に RDA（Resource Description and Access）（RDA Toolkit Website へリンク）として公開されました。日本国内でも 2010 年、日本図書館協会目録委員会により『日本目録規則』の抜本改訂の方向性が示され、その後、NDL と連携しながら、目録規則の改訂作業が進められました。「ニュースレター」では、ＮＤＬの書誌データ提供に関するお知らせだけではなく、各国における RDA 導入状況などの海外動向や新しい『日本目録規則』に関する情報を積極的に発信してまいりました。

2018 年末に『日本目録規則 2018 年版』（日本図書館協会ホームページへリンク）が刊行され、2021 年 1 月から NDL の書誌データ作成においても 2018 年版の適用を開始したことで、「ニュースレター」を通じた動向紹介は一つの区切りを迎えました。そこで、今後の広報について検討し、広報媒体の見直しを行いました。具体的には、「ニュースレター」の刊行を終了し、ＮＤＬの公式 SNS などを活用することにいたします。今後は、短いお知らせが中心になることが見込まれ、より速報性が求められると考えたためです。海外動向の紹介などの記事は、『国立国会図書館月報』などを通じて発表する予定です。また、ホームページ上にまとめのページ「書誌データに関するお知らせ」を設け、発信した情報を一覧化する予定ですので、ご利用いただければ幸いです。

「ニュースレター」の編集長として、自分の在任中に長い歴史に終止符を打つことになったのは残念ですが、時代に合わせた広報の進化を目指したいと考えています。これまでの、関係者各位のご尽力、読者諸氏のご愛読に深く感謝申し上げます。今後とも、書誌データに関する情報発信に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

諏訪　康子
（すわ　やすこ　収集書誌部）

書誌データの広報からみた 70 年

【はじめに】

「NDL 書誌情報ニュースレター」では、開館 70 周年を迎えた 2018 年から、「書誌データからみた 70 年史」と題した連載を掲載しました。

国立国会図書館（NDL）では、書誌調整に関する情報を刊行物『印刷カード通信』『全国書誌通信』そして「NDL 書誌情報ニュースレター」などを通じて発信してきました。「NDL 書誌情報ニュースレター」終刊にあたり、NDL の書誌データの「広報からみた」70 年史を振り返ってみようと思います。いくつかのテーマごとに記事を一覧にまとめた表も掲載します。

【目次】

1. 印刷カード通信
2. 全国書誌通信―機械化、そしてインターネット提供へ
   資料群ごとの解説記事一覧
   書誌調整連絡会議報告記事一覧
3. NDL 書誌情報ニュースレター―ウェブ上でもっと便利に
   「コラム　書誌データ探検」記事一覧
   「コラム　書誌データ利活用」記事一覧
   「産地直送！雑誌記事索引活用法」記事一覧
   海外動向記事一覧
4. 国立国会図書館月報の連載―What's 書誌調整
5. これからの書誌データ広報

1. 印刷カード通信

開館当初の NDL の目録は、個々の書誌情報をカードに記入して、カードボックスに順序立てて並べていました。カードを並べた順番どおりに冊子にまとめたものが冊子体目録です。

NDL では、同じカードを複数枚印刷して、利用者の検索のため（閲覧用）、また職員作業のため（事務用）カード目録を編成していました。さらに、同じカードを各図書館で利用できるように、大量に印刷して頒布したものが「印刷カード」です。印刷カードは 1950 年 12 月から 1998 年 3 月まで、有料で頒布していました。冊子体目録、印刷カードのほか、1948 年には『納本月報』が、1955 年には『納本週報』が創刊されましたが、これらは書誌情報そのものの提供が目的でした。これらとは別に、NDL の書誌調整に関する広報を目的に創刊したのが『印刷カード通信』です。

『印刷カード通信』の創刊は 1971 年 1 月です。No.1 の巻頭には、印刷カード利用館の増加にあたり「作成側と利用側の十分な意志の疎通」が必要、との思いが記されています[1]。

No.1 には、『日本目録規則 1965 年版』の適用と NDL で修正適用する箇所についての説明があります。この後、No.6（1971 年 9 月）、No.8（1971 年 12 月）に「『NCR1965 年版』国立国会図書館取扱細則（稿）」を掲載しました。

『印刷カード通信』は、このような書誌作成ルールの変更のほか、新設した件名、既存の印刷カードの記載事項の訂正などをお知らせしていました。

2. 全国書誌通信―機械化、そしてインターネット提供へ

書誌データの機械編さんが 1977 年に始まり、そのデータベースから、印刷カードや『納本週報』（のち『日本全国書誌』（週刊版）に改題）、さらに機械可読形の JAPAN/MARC、J-BISC（JAPAN/MARC の CD-ROM 版。日本図書館協会から販売されました）が出力され、利用に供されるようになります。

こうした書誌データの提供形態の多様化を受け、『印刷カード通信』は、No.72（1989 年 10 月）から『全国書誌通信』と改題しました。巻頭の「改題に寄せて」では、「本誌を通じて利用館とのコミュニケーションの促進を図りたい」とあり、『印刷カード通信』創刊当初からの思いが受け継がれていることがわかります[2]。

『全国書誌通信』の特徴は、書誌作成ルールの変更などのお知らせを引き続き掲載するだけでなく、書誌作成各課室の課長たちがその時々の書誌データ作成作業の現状について執筆していることです。当時の書誌作成作業にかける思いがうかがえる貴重な記事です。また、資料群ごとの概要を解説する記事も掲載しています。

資料群ごとの解説記事一覧

資料群	記事	掲載号
和図書	当館の和図書書誌データサービス概略	No.72（1989 年 10 月 25 日）（PDF: 1.62MB）
	図書整理区分の概要	No.76（1990 年 10 月 11 日）（PDF: 4.94MB）
	件名標目ア・ラ・カルト	No.73（1989 年 12 月 25 日）（PDF: 3.80MB）
	典拠作業点描	No.74（1990 年 2 月 28 日）（PDF: 4.41MB）
	記述目録業務点描	No.80（1991 年 11 月.28 日）（PDF: 5.71MB）
児童書	当館の児童図書目録について	No.77（1991 年 1 月 28 日）（PDF: 3.63MB）
中国語・朝鮮語図書	当館におけるアジア諸言語資料の概要―特に中国語・朝鮮語図書を中心として―	No.78（1991 年 5 月 7 日）（PDF: 4.03MB）
非図書資料	当館における非図書資料の概要	No.79（1991 年 8 月 31 日）（PDF: 3.57MB）
逐次刊行物	当館における逐次刊行物整理の概要（その 1）	No.81（1992 年 3 月 19 日）（PDF: 5.30MB）
	当館における逐次刊行物整理の概要（その 2）	No.82（1992 年 6 月 25 日）（PDF: 5.68MB）
地図資料	地図資料の書誌データ	No.117（2004 年 3 月 15 日）（PDF: 8.11MB）

また、書誌データの機械編さんが始まった 1977 年から開始した、書誌データの遡及入力については、『全国書誌通信』「NDL 書誌情報ニュースレター」だけでなく、『国立国会図書館月報』でも随時状況をお知らせしてきました。遡及入力に関する記事は、ホームページ「過去の記事から辿る！遡及入力の歴史」にまとめています。

このように刊行物を通じて行ってきた「コミュニケーションの促進」は、平成 12 年度、第 1 回書誌調整連絡会議を開催し、さらに広がりました。書誌調整連絡会議とは、国内の書誌調整について図書館関係機関および有識者が情報共有や意見交換を行う、NDL 主催の会議です。『全国書誌通信』No.108（2001 年 1 月）に第 1 回会議の報告記事を掲載し、以後、毎年の書誌調整連絡会議の報告記事を掲載しています。

各回のホームページの会議概要へのリンクと、報告記事へのリンクを以下の表にまとめました。各回のテーマ、プログラムなどの詳細は「書誌調整連絡会議　開催一覧」（PDF：289KB）をご覧ください。

書誌調整連絡会議報告記事一覧[3]

回次（または年度） 会議概要ページへのリンク	記事	掲載号
第 1 回（平成 12 年度） ・会議概要 ・会議記録（PDF：915KB）	第 1 回書誌調整連絡会議報告（特集：電子情報時代の全国書誌サービス　1.）	No.108（2001 年 1 月 31 日）（PDF：5.17MB）
第 2 回（平成 13 年度） ・会議概要 ・会議記録（PDF：782KB）	第 2 回書誌調整連絡会議報告 ―書誌コントロールの課題―	No.111（2002 年 2 月 28 日）（PDF：4.95MB）
第 3 回（平成 14 年度） ・会議概要 ・会議記録(PDF：1,638KB)	第 3 回書誌調整連絡会議報告―インターネット上の情報資源の組織化―	No.114（2003 年 2 月 28 日）（PDF：5.47MB）
第 4 回（平成 15 年度） ・会議概要 ・会議記録(PDF：1,592KB)	第 4 回書誌調整連絡会議報告 ―名称典拠のコントロール―	No.117（2004 年 3 月 15 日）（PDF：8.11MB）
第 5 回（平成 16 年度） ・会議概要 ・会議記録(PDF：1,865KB)	第 5 回書誌調整連絡会議報告 件名標目の現状と将来ーネットワーク環境における主題アクセス	No.120（2005 年 3 月 4 日）（PDF：4.14MB）
平成 17 年度 ・会議概要 ・会議記録（PDF：529KB）	平成 17 年度書誌調整連絡会議報告	No.123（2006 年 3 月 31 日）（PDF：3.86MB）
平成 18 年度 ・会議概要 ・会議記録(PDF：1,037KB)	平成 18 年度書誌調整連絡会議報告	No.126（2007 年 3 月 15 日）（PDF：434KB）

	ここから NDL 書誌情報ニュースレターに掲載	
回次（または年度） 会議概要ページへのリンク	記事	掲載号
平成 19 年度 ・会議概要 ・会議記録（PDF：582KB）	おしらせ　書誌調整連絡会議を開催しました	2007 年 3 号(通号 3 号) 2007 年 12 月 25 日（PDF：391KB）
平成 20 年度 ・会議概要 ・会議記録（PDF：2.30MB）	おしらせ　平成 20 年度書誌調整連絡会議を開催しました	2008 年 4 号(通号 7 号) 2008 年 12 月 25 日（PDF：874KB）
平成 21 年度 ・会議報告（概要）	おしらせ　平成 21 年度書誌調整連絡会議を開催しました	2009 年 4 号（通号 11 号）2009 年 12 月 25 日（PDF：890KB）
平成 22 年度 ・会議報告（概要）	おしらせ：平成 22 年度書誌調整連絡会議を開催しました	2010 年 4 号（通号 15 号）2010 年 12 月 24 日（PDF：861KB）
平成 23 年度 ・会議報告（概要）	おしらせ：RDA をテーマに、平成 23 年度書誌調整連絡会議を開催しました	2012 年 1 号（通号 20 号）2012 年 3 月 30 日（PDF：784KB）
平成 24 年度 ・会議報告（概要）	おしらせ：平成 24 年度書誌調整連絡会議を開催しました	2012 年 4 号（通号 23 号）2012 年 12 月 25 日（PDF：1.32MB）
平成 25 年度 ・会議報告（概要）	おしらせ：平成 25 年度書誌調整連絡会議を開催しました	2014 年 1 号（通号 28 号）2014 年 3 月 28 日(PDF：1MB)
平成 26 年度 ・会議報告（概要）	おしらせ：平成 26 年度書誌調整連絡会議を開催しました―付・会議資料	2015 年 1 号（通号 32 号）2015 年 3 月 26 日(PDF：1MB)
平成 27 年度 ・会議報告（概要）	おしらせ：平成 27 年度書誌調整連絡会議を開催しました	2016 年 1 号（通号 36 号）2016 年 3 月 25 日(PDF：1MB)
平成 28 年度 ・会議報告（概要）	おしらせ：平成 28 年度書誌調整連絡会議を開催しました	2017 年 1 号（通号 40 号）2017 年 3 月 28 日(PDF：1MB)
平成 29 年度 ・会議報告（概要）	おしらせ：平成 29 年度書誌調整連絡会議を開催しました	2018 年 1 号（通号 44 号）2018 年 3 月 27 日(PDF：1MB)
平成 30 年度 ・会議報告（概要）	おしらせ：平成 30 年度書誌調整連絡会議を開催しました	2019 年 1 号（通号 48 号）2019 年 3 月 27 日(PDF：1MB)
令和 2 年度	おしらせ：令和 2 年度書誌調整連絡会議を開催しました	本誌今号

書誌データを取り巻く海外の動向については、従来は『図書館研究シリーズ』などにまとめていました[4]。し

かし、2004 年 1 月に国際図書館連盟（IFLA）（IFLA Website へリンク）から発表された「国際目録原則覚書」（ICP）の最終草案についての記事[5]を皮切りに、『全国書誌通信』でも海外動向についてお知らせするようになります。ICP については、2004 年 1 月草案から 2006 年 1 月草案への変更点についての記事もあります[6][7]。No. 125（2006 年 11 月）には、同年 8 月に韓国・ソウルで開催された国際目録規則に関する第 4 回 IFLA 目録専門家会議（IME ICC 4）の参加報告を掲載しました[8]。

『印刷カード通信』『全国書誌通信』は、以下のページで全号をご覧いただけます。

・印刷カード通信　総目次
・全国書誌通信　総目次

3. NDL 書誌情報ニュースレター―ウェブ上でもっと便利に

『印刷カード通信』から『全国書誌通信』への改題のきっかけは、書誌データ提供形態の多様化でした。1990 年代後半からのインターネットの普及に伴い、書誌データの提供形態についても、2000 年 3 月の Web-OPAC の提供開始、2002 年 4 月のホームページ版「日本全国書誌」の提供開始というような、インターネット化が進んでいきます。これに伴って広報媒体も、2007 年の『日本全国書誌』の冊子体の終刊とともに冊子体の『全国書誌通信』が No. 127（2007 年 5 月）をもって終刊となり、ホームページ上で提供する「NDL 書誌情報ニュースレター」へとバトンタッチされました。また、このとき「NDL 書誌情報ニュースレター」広報犬としてカーネが誕生しました。

インターネット化の流れの中で、『印刷カード通信』『全国書誌通信』において年 1 回掲載してきた新設件名一覧は、2003 年からはホームページで 2 か月に 1 回掲載するようになりました[9]。2012 年以降は、国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス（Web NDL Authorities）から RSS で日次配信しており、より早くお知らせすることができるようになっています。

「NDL 書誌情報ニュースレター」では、リンクで関連ページを簡単に参照できるように工夫しました。過去の記事はすべて PDF 版でご覧いただくことができ、PDF 版でも関連ページが参照できます。このウェブならではの特性を活かして、書誌データの便利な使い方、さらには NDL 書誌データの利活用事例も取り上げました。以下の表は、書誌データの便利な使い方、利活用事例などの連載記事を一覧にしたものです[10]。

「コラム　書誌データ探検」記事一覧

記事	掲載号
目録規則の変遷－出版年のとり方	2007 年 2 号 (通号 2 号) 2007 年 9 月 28 日 (PDF: 468KB)
役割表示のさまざま―「著」、「編」、……?「料理」?	2007 年 3 号(通号 3 号)2007 年 12 月 25 日 (PDF: 391KB)
人名の標目―「個人」vs.「人格」編	2008 年 4 号(通号 7 号)2008 年 12 月 25 日 (PDF: 874KB)
人名の標目―「著者標目」vs.「人名件名標目」編	2009 年 1 号 (通号 8 号) 2009 年 3 月 31 日 (PDF: 1.03MB)
件名 (1) 図書館版キーワード検索―件名標目とは?	2009 年 2 号 (通号 9 号) 2009 年 6 月 30 日 (PDF: 1.10MB)
件名 (2) NDLSH メイキング―件名標目新設の現場	2009 年 3 号(通号 10 号)2009 年 10 月 15 日(PDF: 1.03MB)
件名 (3) 事前結合方式―件名標目の可能性の中心	2009 年 4 号(通号 11 号)2009 年 12 月 25 日(PDF: 890KB)
件名(4)件名標目はウェブの中へ―セマンティック・ウェブ、トピックマップ…	2010 年 1 号 (通号 12 号) 2010 年 3 月 31 日 (PDF: 703KB)
団体名の標目―企業、大学、一筋縄ではいかない団体名標目の選び方	2010 年 2 号(通号 13 号)2010 年 6 月 30 日 (PDF: 1.05MB)
これまた一筋縄ではいかない、“団体名の変化”を追いかけよう!”	2010 年 3 号(通号 14 号)2010 年 10 月 29 日(PDF: 742KB)
分類 (1) 分類って何?分類の使い方	2011 年 1 号 (通号 16 号) 2011 年 3 月 31 日 (PDF: 639KB)
分類 (2) 分類表の解釈:「日本十進分類法新訂 9 版分類基準」	2011 年 2 号 (通号 17 号) 2011 年 7 月 7 日 (PDF: 681KB)
分類 (3) 分類作業のその先に	2011 年 3 号(通号 18 号)2011 年 9 月 30 日 (PDF: 485KB)
アジア言語資料編	2011 年 4 号(通号 19 号)2011 年 12 月 26 日(PDF: 835KB)
音楽・映像資料編　表現世界と目録世界とをつなぐ懸け橋―音楽・映像資料の目録作成	2012 年 1 号 (通号 20 号) 2012 年 3 月 30 日 (PDF: 784KB)
欧米諸言語資料編	2012 年 2 号 (通号 21 号) 2012 年 6 月 29 日 (PDF: 506KB)
和古書・漢籍編	2012 年 3 号(通号 22 号)2012 年 9 月 28 日 (PDF: 1.57MB)
地図資料編―地図にしかない書誌事項が、そこにある―	2012 年 4 号(通号 23 号)2012 年 12 月 25 日(PDF: 1.32MB)
日本占領関係資料―生の記録―	2013 年 1 号(通号 24 号)2013 年 3 月 28 日(PDF: 2.14MB)
憲政資料編	2013 年 2 号 (通号 25 号) 2013 年 6 月 26 日 (PDF: 834KB)

「コラム　書誌データ利活用」記事一覧

記事	掲載号
各種機能のご紹介	2013 年 3 号(通号 26 号)2013 年 9 月 26 日(PDF: 1.07MB)
ダウンロードファイルのあれこれ	2013 年 4 号 (通号 27 号) 2013 年 12 月 25 日 (PDF: 1MB)
Web NDL Authorities (国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス)	2014 年 1 号 (通号 28 号) 2014 年 3 月 28 日 (PDF: 1MB)
全国書誌 (電子書籍・電子雑誌編) TSV ファイルを利用しよう!	2014 年 2 号 (通号 29 号) 2014 年 6 月 26 日 (PDF: 834KB)

記事	掲載号
テキストエディタを使った NDL-OPAC ダウンロードファイルの加工	2014 年 4 号（通号 31 号）2014 年 12 月 25 日（PDF: 1MB）
Web NDL Authorities 解読講座　その 1―ウェブでつながる典拠データ	2015 年 1 号（通号 32 号）2015 年 3 月 26 日（PDF: 1MB）
Web NDL Authorities 解読講座　その 2―いろいろ探せる SPARQL（スパークル）	2015 年 2 号（通号 33 号）2015 年 6 月 26 日（PDF: 1MB）
「NDL 書誌データ取得・検索シート」の使い方とカスタマイズ　その 1―使い方	2015 年 3 号（通号 34 号）2015 年 9 月 25 日（PDF: 1MB）
「NDL 書誌データ取得・検索シート」の使い方とカスタマイズ　その 2―カスタマイズ	2015 年 4 号（通号 35 号）2015 年 12 月 24 日（PDF: 1MB）
利活用事例の紹介	2016 年 4 号（通号 39 号）2016 年 12 月 22 日（PDF: 1MB）
利活用事例の紹介（浦安市立図書館）	2017 年 2 号（通号 41 号）2017 年 6 月 27 日（PDF: 813KB）
利活用事例の紹介（高知県教育委員会と県立高校、道灌山学園図書室）	2017 年 3 号（通号 42 号）2017 年 9 月 27 日（PDF: 744KB）
NDL-Bib を始めました!!	2018 年 1 号（通号 44 号）2018 年 3 月 27 日（PDF: 1MB）
国立国会図書館オンラインの書誌データ検索・活用法	2018 年 3 号（通号 46 号）2018 年 9 月 26 日（PDF: 1MB）
もっと便利に！NDL-Bib から書誌データをダウンロード	2018 年 4 号（通号 47 号）2018 年 12 月 26 日（PDF: 1MB）
2021 年 1 月からの書誌データ提供サービス	本誌今号

「産地直送！雑誌記事索引活用法」記事一覧

記事	掲載号
インタビューする人、される人	2008 年 1 号（通号 4 号）2008 年 3 月 31 日（PDF: 451KB）
雑索の人名の読み	2008 年 2 号（通号 5 号）2008 年 6 月 30 日　(PDF: 420KB)
特集記事について	2008 年 3 号（通号 6 号）2008 年 9 月 30 日　(PDF: 628KB)

また、当初から海外動向についても積極的に発信してきました。毎年、世界図書館・情報会議（IFLA 年次大会）、バーチャル国際典拠ファイル（Virtual International Authority File：VIAF）評議会会議、ISSN センター長会議の参加報告記事を掲載する一方、調査、出張、業務交流などで得た最新動向を紹介してきました。なかでも 2015 年 3 号（通号 34 号）から 2016 年 3 号（通号 38 号）まで、「世界の RDA の取組みのいま」と題して、各国における“Resource Description and Access”（RDA）適用に向けての取組みについて連載で紹介しました。

以下の表では、会議参加報告、連載「世界の RDA の取組みのいま」以外の海外動向記事をまとめました。

海外動向記事一覧

事項	記事	掲載号
ISSN	動向：Linking ISSN （ISSN-L）の動向について	2007 年 3 号（通号 3 号）2007 年 12 月 25 日（PDF: 391KB）
	フランス国立図書館と ISSN 国際センターのプロジェクト（逐次刊行物目録の FRBR 化）について	2013 年 2 号（通号 25 号）2013 年 6 月 26 日（PDF: 834KB）
海外の国立図書館、関係機関	動向：米国議会図書館（LC）の収集整理業務の動向	2008 年 1 号（通号 4 号）2008 年 3 月 31 日（PDF: 451KB）
	動向：オーストラリア国立図書館の次世代目録試行版	2008 年 1 号（通号 4 号）2008 年 3 月 31 日（PDF: 451KB）
	RDA 導入に向けた米国図書館の現状について―米国図書館訪問記―	2013 年 1 号（通号 24 号）2013 年 3 月 28 日（PDF: 2.14MB）
	英国図書館における NDLSH 付与作業と Web NDL Authorities の活用	2013 年 3 号（通号 26 号）2013 年 9 月 26 日（PDF: 1.07MB）
	OCLC の多言語書誌構造化の取組み―利用者にとって最適な表示を目指して	2014 年 4 号（通号 31 号）2014 年 12 月 25 日（PDF: 1MB）
	Linked Open Data―欧米国立図書館の動向と国立国会図書館の取組み	2015 年 2 号（通号 33 号）2015 年 6 月 26 日（PDF: 1MB）
	欧米国立図書館の RDA 適用状況に関する調査報告	2016 年 2 号（通号 37 号）2016 年 6 月 28 日（PDF: 982KB）
	米国議会図書館における BIBFRAME の動向（出張報告）	2017 年 3 号（通号 42 号）2017 年 9 月 27 日 （PDF: 744KB）
目録規則などについて	動向：電子時代の全国書誌のためのガイドライン（草案）について	2008 年 3 号（通号 6 号）2008 年 9 月 30 日（PDF: 628KB）
	動向：「国際目録原則覚書」―FRBR モデルに基づく利用者志向の目録へ	2009 年 2 号（通号 9 号）2009 年 6 月 30 日（PDF: 1.10MB）
	「典拠データの機能要件」について	2013 年 1 号（通号 24 号）2013 年 3 月 28 日（PDF: 2.14MB）
	“Resource Description and Access” （RDA）の日本語訳について	2014 年 3 号（通号 30 号）2014 年 9 月 26 日（PDF: 983KB）
	ウェブ環境に適した新しい書誌フレームワーク：BIBFRAME	2016 年 2 号（通号 37 号）2016 年 6 月 28 日 （PDF: 982KB）
	国際目録原則覚書（ICP）の改訂版が公開されました	2017 年 1 号（通号 40 号）2017 年 3 月 28 日（PDF: 1MB）
	図書館の目録データの Linked Data 化に向けた取組み―MARC における URI の使用	2018 年 1 号（通号 44 号）2018 年 3 月 27 日（PDF: 1MB）

事項	記事	掲載号
	BIBFRAME のいま	2020 年 2・3 号（通号 53・54 号）2020 年 9 月 25 日（PDF: 1.42MB）

4. 国立国会図書館月報の連載―What’s 書誌調整

インターネットを通じて書誌データや典拠データが利用できるようになり、目録作成関係者や図書館関係者だけでなく、利用者の皆さんからの、データの内容に関するお問合せが増えてきました。このため、より広く書誌調整について知ってもらえるよう、『全国書誌通信』という従来の広報媒体を飛び出して『国立国会図書館月報』にコラムを掲載しました。2003 年 5 月から 2005 年 2 月にかけて連載した、「What’s 書誌調整？」です。「利用者が図書館資料に、より到達しやすくするために、どんな目録を作成・提供すべきか。その仕組みをつくりあげるのが書誌調整なのだ」（第 1 回）というように、どなたにも親しみやすい内容で書誌調整業務を解説した記事になっています。

「What’s 書誌調整？」の連載から 10 年後、2015 年 7 月から 2019 年 4 月まで、「What’s 書誌調整ふたたび」を『国立国会図書館月報』に連載しました。「What’s 書誌調整？」連載当時に比べて書誌データの提供方法がウェブ中心になり、もっと便利になっていることを、広く皆さんにお知らせすることが目的です。「What’s 書誌調整ふたたび」では、「NDL 書誌情報ニュースレター」広報犬であるカーネを主人公に、書誌調整の「いま」についてより身近に感じてもらえるような記事を目指しました。

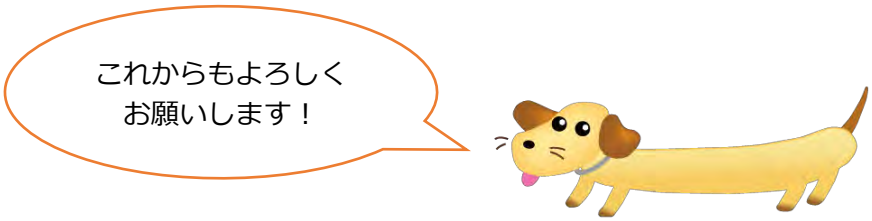
「What’s 書誌調整？」「What’s 書誌調整ふたたび」の記事一覧を、「What’s 書誌調整」のページに掲載しています。

最近は、NDL のメールマガジン「図書館協力ニュース」、NDL 公式 YouTube チャンネル上の遠隔研修教材「全国書誌データの利活用」（2019 年 3 月公開）[11]など、さらに多様な媒体で情報発信をしています。

5. これからの書誌データ広報

現在、書誌データをとりまく環境は今までになく急速に変化しています。2019 年 4 月には、営利・非営利の目的を問わずに、NDL の書誌データを申請なしにどなたでも無償で利用していただけるようにしました。皆さんによりタイムリーに情報をお届けするため、季刊の「NDL 書誌情報ニュースレター」は終刊し、今後はホームページ「書誌データの作成および提供」に各種お知らせを随時掲載します。

書誌データの検索やダウンロードに便利な情報をいち早くお知らせしていくとともに、書誌調整に関する解説や国内外の動向の紹介なども掲載していきます。特に、書誌関連の国内外の動向などについては、「書誌データの作成および提供」ページ以外に掲載した記事へのリンクもお知らせページに掲載して、一覧できるようにする予定です。「NDL 書誌情報ニュースレター」の広報犬であるカーネは、これからは「書誌データの作成および提供」で活躍します。



書誌データの提供方法も広報も 70 年で大きく変わりましたが、『印刷カード通信』創刊号に記された「作成側と利用側の十分な意志の疎通」が重要であることは、昔も今も変わりありません。NDL ではこれからも、書誌データについての情報をいち早く、わかりやすく発信することを目指します。皆さんのご意見・ご要望もお聞きしながら、よりよいホームページにしていきたいと思いますので、今後とも「書誌データの作成および提供」のページをどうぞよろしくお願いします。

村上　一恵
（むらかみ　かずえ　収集・書誌調整課）

[1] 酒井悌. よりよき改善のために. 印刷カード通信. 1971, (1), p. 1, https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8724215_po_1.pdf?contentNo=1, (参照 2020-12-14).
なお、表現は原文のままにしています。
[2] 野村文保. 改題に寄せて. 全国書誌通信. 1989, (72), p. 1, https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8723811_po_72.pdf?contentNo=1, (参照 2020-12-14).
[3] 令和元年度書誌調整連絡会議は、2020 年 3 月の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止しました。令和 2 年度は、令和元年度に予定していた「著作の典拠コントロール」をテーマにオンライン開催しました。
[4] 『図書館研究シリーズ』は、図書館に関する研究成果をまとめた NDL の刊行物です。目録に関しては、たとえば以下のような記事があります。
米村隆二. オーストラリアの全国総合目録. 図書館研究シリーズ. 1978, (19), p. 101-116
ヘンリエット D. アブラム; 田屋裕之翻訳. 現状報告; 米国における全国図書館ネットワークの発展に向けて. 図書館研究シリーズ. 1980, (21), p. 433-457
[5] 書誌調整課データ標準係. 「国際目録原則覚書」最終草案について. 全国書誌通信. 2005, (120), p. 18, https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8723859_po_120.pdf?contentNo=1#page=18, (参照 2020-12-14).
[6] 書誌調整課. 国際目録原則覚書（2006 年 4 月草案）について. 全国書誌通信. 2007, (126), p. 31, https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8723865_po_126.pdf?contentNo=1#page=31, (参照 2020-12-14).
[7] 2009 年 2 月に公開された ICP の完成版については、以下の記事で解説しています。
横山幸雄. 動向:「国際目録原則覚書」―FRBR モデルに基づく利用者志向の目録へ. NDL 書誌情報ニュースレター. 2009 年 2 号（通号 9 号）, https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_3507135_po_2009_2.pdf?contentNo=1#page=7, (参照 2020-12-14).
[8] 原井直子, 横山幸雄. アジア初の目録専門家会議 ―IME ICC 4 報告―. 全国書誌通信. 2006, (125), p. 1-3, https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8723864_po_125.pdf?contentNo=1, (参照 2020-12-14).

[9] 国内図書課主題係. 新設件名標目の広報の変更について. 全国書誌通信. 2003, (114), p. 6, https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8723853_po_114.pdf?contentNo=1#page=6, (参照 2020-12-14).

[10] いずれの記事も、執筆当時の内容と現状が異なる部分があることにご留意ください。NDL の書誌データ作成における最新のルール、書誌データの利活用方法などについては、「書誌データ作成および提供」のページをご覧ください。

[11] 2021 年 3 月現在、遠隔研修教材「全国書誌データの利活用」は、2021 年 1 月からの新しい書誌データ提供サービスに対応するため、公開を停止しています。令和 3 年度中に新サービス対応版を公開する予定です。

コラム:書誌データ利活用(16)―2021 年 1 月からの書誌データ提供サービス

【はじめに】

国立国会図書館は 2021 年 1 月に書誌データ提供サービスをリニューアルしました。本稿では、現在の書誌データ提供サービス[1]の全体像を紹介し、そのうち国立国会図書館サーチについては新しいサービスを中心に詳しく案内します。

1. 書誌データ提供サービスの全体像

2021 年 1 月時点での国立国会図書館の書誌データ提供サービスの概要は以下のとおりです。★の項目が新しいサービスです。

サービス名	取得方法	データ形式	1 回あたりの取得件数または提供形態
国立国会図書館サーチ	書誌詳細画面からダウンロード	★MARC (ISO 2709) [2] ★MARC タグ DC-NDL (RDF) JSON	1 件
	★NDL 作成 MARC 取得ツール	MARC (ISO 2709) MARC タグ	「検索版」は 500 件 「ISBN 版」は上限なし
	検索用 API (SRU、OpenSearch)	SRU:DC-NDL (RDF) など[3] OpenSearch : RSS2.0	500 件
	ハーベスト用 API	DC-NDL (RDF) [3] DC-NDL (Simple) SimpleDC (OAI-DC)	リクエスト 1 回あたり 200 件
	RSS	RSS2.0	最新分、最新 7 日分、最新 15 日分を提供
	全件データ提供	DC-NDL (RDF)	依頼に応じて全件ファイルを提供
国立国会図書館オンライン	検索結果一覧、書誌詳細画面からダウンロード	TSV BibTex	100 件 ※書誌詳細画面からは 1 件
JAPAN/MARC データ (毎週更新)	提供ページからダウンロード	MARC (ISO 2709) MARC タグ	1 週間分の更新データを 1 ファイルで提供
全国書誌 (電子書籍・電子雑誌編) [4]	提供ページからダウンロード	TSV	受理日ごとのデータを 1 ファイルで提供

表 1　書誌データ提供サービスの概要

※国立国会図書館書誌提供サービス (NDL-Bib) は、2020 年 12 月 28 日をもって終了しました。

各サービスで取得できる書誌データの範囲は以下のとおりです[5]。

国立国会図書館サーチ	国立国会図書館作成書誌（全国書誌[6]を含む） 新着書誌情報[7] 全国書誌（電子書籍・電子雑誌編）
国立国会図書館オンライン	国立国会図書館作成書誌（全国書誌を含む[8]）
JAPAN/MARC データ（毎週更新）	全国書誌
全国書誌（電子書籍・電子雑誌編）	全国書誌（電子書籍・電子雑誌編）

表 2　各サービスで取得できる書誌データ

2. 国立国会図書館サーチからの書誌データ提供

これまでは、NDL-Bib が MARC などの形式の書誌データをダウンロードにより提供し、国立国会図書館サーチが DC-NDL などの形式の書誌データについて API を通じて提供してきましたが、2021 年 1 月からは国立国会図書館サーチが双方の書誌データ提供機能を担います。

(1)　MARC 形式および MARC タグ形式データのダウンロード（書誌詳細画面から）

書誌詳細画面の右下、「検索結果を出力」の欄に、MARC 形式（ISO 2709）および MARC タグ形式で出力するリンクが追加されました（図 1)。「MARC タグ形式」とは、MARC 形式のデータを 1 フィールドが 1 行となるよう変換し、フィールドと記録された値の対応関係がわかりやすい形式です。目録作成時のデータ確認などに利用することができます（図 2)。

図 1　国立国会図書館サーチ　書誌詳細画面

```
LDR             00000nam a2200373 i 4500
001             000002999797
003             JTNDL
005             20210125124819.0
007             ta
008             011029s1986    ja ||||g |||| ||||||jpn
015             |a 20188431 |2 jnb
020             |a 4-8406-9625-X : |c 8000円
040             |a JTNDL |b jpn |c JTNDL |e ncr/1987
084             |a KG293 |2 kktb
084             |a 915.5 |2 njb/09
090             |a KG293-G16
24500           |6 880-01 |a 花月日記 : |b 文化九年・十年 : 私家版 / |c [松平定信] [著] ; 木村三四吾 編校.
260             |6 880-02 |a [奈良] : |b 木村三四吾 ; |a [東京] : |b 八木書店 (発売), |c [1986]
300             |a 297p ; |c 21cm.
500             |a 折り込1枚.
7300            |6 880-03 |a 花月日記 |0 031220966
7001            |6 880-04 |a 松平, 定信, |d 1758-1829 |0 00270750
7001            |6 880-05 |a 木村, 三四吾, |d 1916-2008 |0 00031051
88000           |6 245-01/$1 |a カゲツ ニッキ : |b ブンカ クネン ジュウネン : シカバン.
88000           |6 245-01/(B |a Kagetsu nikki : |b Bunka kunen junen : Shikaban.
880             |6 260-02/$1 |a [ナラ] : |b キムラ サンヨン ゴ ; |a [トウキョウ] : |b ヤギ ショテン (ハツバイ), |c [1986]
880             |6 260-02/(B |a [Nara] : |b Kimura san'yon go ; |a [Tokyo] : |b Yagi shoten (Hatsubai), |c [1986]
8801            |6 700-04/$1 |a マツダイラ, サダノブ, |d 1758-1829 |0 00270750
8801            |6 700-04/(B |a Matsudaira, Sadanobu, |d 1758-1829 |0 00270750
8801            |6 700-05/$1 |a キムラ, ミヨゴ, |d 1916-2008 |0 00031051
8801            |6 700-05/(B |a Kimura, Miyogo, |d 1916-2008 |0 00031051
8800            |6 730-03/$1 |a カゲツ ニッキ |0 031220966
8800            |6 730-03/(B |a Kagetsu nikki |0 031220966
```

図 2　MARC タグ形式データの例

このサービスは国立国会図書館サーチで提供するデータのうち、国立国会図書館が作成した書誌データ（新着

書誌情報を含む）および雑誌記事索引データのみを対象としています。国立国会図書館以外の各種図書館や学術研究機関などが提供するデータ、国立国会図書館デジタルコレクションのメタデータを MARC 形式または MARC タグ形式でダウンロードすることはできません[9]。ダウンロード可能なデータのみ、リンクが表示されます。

また、MARC 形式または MARC タグ形式でのダウンロード機能は書誌詳細画面のみで提供しており、検索結果一覧画面などからダウンロードすることはできません。

(2) 国立国会図書館作成 MARC 取得ツール（ご希望に応じて提供）

（1）で紹介した国立国会図書館サーチの書誌データダウンロード機能は、1 件単位でのダウンロードとなり、検索結果から複数のデータを一括してダウンロードすることはできません。このため、一括ダウンロードもできるよう、「国立国会図書館作成 MARC 取得ツール」を作成しました。MARC 取得ツールでダウンロードすることができるデータの対象は、（1）で挙げたものと同一です。

MARC 取得ツールは、Excel のマクロにより国立国会図書館サーチの API を通じて書誌データを検索し、検索結果を MARC 形式または MARC タグ形式でダウンロードすることができます。このツールには、「検索版」と「ISBN 版」の 2 種類があり、「検索版」ではキーワード、NDC、NDLC から、「ISBN 版」では ISBN から検索することができます。

「検索版」では上部にある検索項目や表示件数（最大 500 件）など（図 3①）を入力してから、「ISBN 版」では「ISBN」の列（図 4①）に ISBN を入力してから、左側の「検索する」ボタン（図 3、4②）をクリックすると検索結果が Excel のシート上に表示されます。この Excel に表示された検索結果のデータをブックリストや簡易な蔵書目録などに利用することも可能です。

検索結果の左側にあるダウンロードボタン（図 3、4③）をクリックすると、各形式の書誌データを一括でダウンロードし、一つのファイルに統合して保存します。検索結果のうち不要な書誌データについては、シートからその行を削除すればダウンロード対象から除外することができます。

MARC 取得ツールの利用を希望される方は、「全国書誌データ ＞ 全国書誌データ提供サービス ＞ 国立国会図書館サーチ ＞ 書誌データのダウンロード」のページの案内をご覧ください[10]。

図 3　国立国会図書館作成 MARC 取得ツール　検索版

	ISBN	タイトル *網掛けの行は新着書誌情報(作成中の書誌)	版表示	著者	シリーズ名	出版者	出版年	JP番号	NDC9	NDC8	NDLC	件名
	978-4-7807-1964-2	新古典派経済学の批判 : 現代の形而上学	新装版 オンデマンド	小澤勝徳 著		本の泉社	2020	23379044	331.74		DA33	ケンブリッジ学派(経済学)
	978-4-06-519345-7	レヴィナス : 「顔」と形而上学のはざまで		佐藤義之 [著]	講談社学術文庫 ; 2567	講談社	2020	23384026	135.5		HD135	Lévinas, Emmanuel, 1906-1995
	978-4-04-072203-0	通常攻撃が全体攻撃で二回攻撃のお母さんは好きですか?		井中だちま 著	富士見ファンタジア文庫 ; い-7-1-1	KADOKAWA	2017	22848056	913.6		KH844	
	978-4-7710-3269-9	カントの世界市民主義 : 十八世紀ドイツ啓蒙における カント歴史哲学の知識社会学的研究		西田雅弘 著		晃洋書房	2020	23342265	134.2		HD49	Kant, Immanuel, 1724-1804 政治思想--ドイツ--歴史--18
	978-4-86285-309-7	トマス・アクィナスの形而上学 : 経験の根源		古舘恵介 著		知泉書館	2020	23334299	132.2		HC41	Thomas Aquinas, Saint, 1225?-1274 形而上学

図 4　国立国会図書館作成 MARC 取得ツール　ISBN 版

(3)　API を通じた取得

国立国会図書館サーチでは外部提供インタフェース（API）を提供しており、対応したシステムやツールから、書誌データを検索したり、取得したりすることができます。API の詳細な仕様については「API 仕様の概要」で、各 API で取得できるデータのサンプルは「全国書誌データ ＞ 全国書誌データ提供サービス ＞ 国立国会図書館サーチ」）で提供しています。

検索用 API（SRU、OpenSearch、OpenURL に対応）

API を通じて国立国会図書館サーチ内のメタデータを検索し、ヒットしたデータを DC-NDL（RDF）などの形式で取得することができます。国立国会図書館が作成した書誌データに限定して検索することも可能です[11]。

ハーベスト API（OAI-PMH に対応）

国立国会図書館サーチ内のメタデータについて、データが登録・更新された日付などの条件を指定してまとめてダウンロードすることができます。こちらも国立国会図書館が作成した書誌データに限定して取得することが可能です。ハーベスト API（OAI-PMH）の仕様については、「国立国会図書館サーチが提供する OAI-PMH」および「API 仕様の概要」をご覧ください。

また、国立国会図書館サーチの API を利用して、データを取得するツール類が公開されています。「書誌データ利用のためのクイックガイド ＞ 国立国会図書館の書誌データに関する便利な情報、具体的な利活用事例を知りたい」をご覧ください。

(4)　全件データの提供

国立国会図書館が作成した書誌データまたは雑誌記事索引データの全件を、依頼に応じて DC-NDL（RDF）形式で提供します。技術的仕様については「国立国会図書館サーチが提供する OAI-PMH」ページ内「5. 国立国会図書館作成書誌の全件ファイル提供について」をご覧ください。

提供を希望される方は、「書誌データの提供 > オンラインサービスの概要」ページの案内をご覧ください。

3. ホームページ「書誌データの作成および提供」の改訂について

2021 年 1 月の書誌データ提供サービスの変更や『日本目録規則 2018 年版』の適用開始に伴い、国立国会図書館ホームページ「書誌データの作成および提供」のページを大幅に改訂しました。

各種の書誌データ提供サービスの概要や利用方法について「書誌データの提供」で説明しています。また、書誌データ利用のヒントとなる情報を記載した「書誌データ利用のためのクイックガイド」や、国立国会図書館が提供する書誌データに対応した図書館システムを紹介した「国立国会図書館書誌データ対応システム一覧」なども掲載しています。国立国会図書館の書誌データをすでに利用されている方も、利用についてご関心がある方も、ぜひご覧ください。

【おわりに】

書誌情報ニュースレターの終刊に伴い、「コラム：書誌データ利活用」も今回が最終回となります。これまでご覧いただき、ありがとうございました。今後もホームページなどから書誌データの利活用に役立つ情報を発信していきます。これからも、国立国会図書館の書誌データをさまざまな場面でご活用いただければ幸甚です。

（収集・書誌調整課　書誌サービス係）

[1] 本稿では、国立国会図書館が作成した書誌データ（典拠データ、雑誌記事索引データを除く）を対象とした提供サービスを紹介します。
典拠データの提供サービスも 2021 年 1 月にリニューアルしました。次の記事をご覧ください。
西村葉純. 2021 年 1 月から Web NDL Authorities が変わります. NDL 書誌情報ニュースレター. 2020 年 4 号（通号 55 号）,
https://www.ndl.go.jp/jp/data/bib_newsletter/2020_4/article_01.html, （参照 2021-01-29）.
また、雑誌記事索引データの提供に関してはホームページ「雑誌記事索引について」をご覧ください。

[2] JAPAN/MARC MARC21 フォーマットで提供しています。フォーマットの詳細は「JAPAN/MARC マニュアル・フォーマット」のページをご覧ください。

[3] API では、DC-NDL などの形式で提供します。DC-NDL 形式のデータは、タイトルのローマ字よみを持たないなど、MARC 形式とは若干の違いがあります。「MARC21 と DC-NDL（RDF）の書誌データの主な違い」（PDF: 100KB）をご覧ください。

[4] 国立国会図書館が 2013 年 7 月から収集・保存しているオンライン資料（インターネットなどで出版（公開）される電子情報で、図書または逐次刊行物に相当するもの）の書誌データ。

[5] 典拠データおよび雑誌記事索引データについては、この表には記載していません。各サービスの全体像については、「書誌データの提供 > オンラインサービスの概要」をご覧ください。

[6] 国立国会図書館が納本制度に基づき収集した国内出版物と、寄贈、購入などの方法により収集した国内出版物および外国で刊行された日本語出版物の標準的な書誌データ。

[7] 作成中の全国書誌データ（地図資料、アジア言語資料を除く）を、速報データとして提供しています。

[8] タイトルよみ、日本全国書誌番号などの項目がないなど、MARC 形式や DC-NDL 形式のデータよりもシンプルな内容です。

[9] DC-NDL（RDF）形式、JSON 形式では、すべてのデータがダウンロード対象となります。

[10] マイクロソフト社の Microsoft Excel（バージョン 2010 以上）およびインターネットを利用できる環境が必要です。また、このツールにはマクロ付きの Excel ファイルと Windows のバッチファイルが含まれています。セキュリティ上の問題がないことをご確認ください。

[11] 検索条件で対応するデータプロバイダを指定してください。データプロバイダの詳細については「API 提供対象データプロバイダ一覧」をご覧ください。

おしらせ：令和 2 年度書誌調整連絡会議を開催しました

国立国会図書館（NDL）は、2021 年 3 月 3 日に令和 2 年度書誌調整連絡会議を開催しました。この会議は、国内の書誌調整に関する情報共有と意見交換により書誌データの作成および提供の充実と発展に資することを目的として、定期的に行われています。本年度は「著作の典拠コントロール」をテーマとし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン開催としました。研究者や、図書館、書誌データ作成機関などに所属の実務者 9 名と、NDL 職員が出席しました。

最初に、慶應義塾大学教授の谷口祥一氏から、『日本目録規則 2018 年版』（日本図書館協会ホームページへリンク）で規定された著作の典拠コントロールの意義についてご発表いただいた後、国文学研究資料館の増井ゆう子氏から、新日本古典籍総合データベース（国文学研究資料館のデータベースへリンク）における著作の典拠コントロールについてご発表いただきました。続いて、NDL から 2021 年 1 月に適用を開始した「著作に対する典拠形アクセス・ポイントの選択・形式基準（2021 年 1 月）」（PDF：494KB）について報告しました。その後、出席者による意見交換が行われ、著作の典拠コントロールの今後の普及に関する取組みとして、日本国内における著作の同定基準の調整や国内関係機関の連携を求める意見などが交わされました。

会議の概要と資料については、後日、NDL ホームページの「書誌調整連絡会議」のページに掲載します。

（収集・書誌調整課　書誌調整係）

NDL 書誌情報ニュースレター(年 4 回刊)

2021 年 1 号(通号 56 号)　2021 年 3 月 26 日発行

編集・発行　国立国会図書館収集書誌部

〒100-8924　東京都千代田区永田町 1-10-1

E-mail: bib-news@ndl.go.jp (ニュースレター編集担当)